

製品名: AVPR1A ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07383**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	55kDa

抗原情報

遺伝子名	AVPR1A
別名	Vasopressin V1a receptor (V1aR) (AVPR V1a) (Antidiuretic hormone receptor 1a) (Vascular/hepatic-type arginine vasopressin receptor)
遺伝子 ID	552.0
SwissProt ID	P37288
免疫原	ヒト AVPR1A 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 11-60

背景

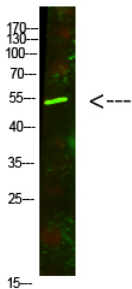
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、アルギニンバソプレシンの受容体として機能します。この受容体

は、AVPR1B、V2R、OXT 受容体を含む G タンパク質共役受容体のサブファミリーに属します。その活性は、ホスファチジルイノシトール-カルシウムセカンドメッセンジャーシステムを刺激する G タンパク質によって媒介されます。この受容体は、細胞の収縮と増殖、血小板凝集、凝固因子の放出、グリコーゲン分解を媒介します。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能: アルギニンバソプレシン受容体。この受容体の活性は、ホスファチジルイノシトール-カルシウムセカンドメッセンジャーシステムを活性化する G タンパク質によって媒介されます。親和や愛着を含む社会行動に関与している。、その他: 脳内の受容体発現の地域差や社会行動の差異は、AVPR1A の 5'隣接領域に存在する非常に変異性の高い反復配列に起因する可能性がある。そのような対立遺伝子変異の一つは自閉症と関連付けられている。、類似性: G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属する。、

研究分野

カルシウム;神経活性リガンド-受容体相互作用;血管平滑筋収縮;

画像データ



AVPR1A ウサギポリクローナル抗体 (1:500 希釈、4°C、一晚) を用いたマウス肺細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体: ヤギ抗ウサギ IgG IRDye 800 (1:5000 希釈、25°C、1 時間)